

# 小2向けの算数知育玩具を、高齢者の認知症予防向けにリニューアル

～母親の壮絶な介護体験から決断。シニアの心身を健やかに～



株式会社ドリームファームの小林真樹(まさき)と申します。この度、小学2年向けの算数知育玩具を高齢者向けにリニューアルして販売開始いたします。

現在、65歳以上の高齢者の認知症有病率が16.7%、人口にして約602万人と報道では言われています。割合にして、実に6人に1人が認知症有病者ということになります。

生命保険文化センターの統計では、このまま増加の一途をたどった場合、30年後の2050年には1000万人を突破すると発表しています。仮にそれが現実になった場合、認知症の高齢者をサポートする「人手不足の深刻化」という問題も容易に想像できます。

実は、私の母親(満73)は、1993-2005年まで、約12年に渡り義母(故人:私にとって父方の祖母)の在宅介護をしていました。間近で見ていた当時20-30代の私にとっては、「介護」というより「壮絶」「苦痛」の2文字のほうが相応しいと日々、感じていました。

カレーを食べたことがない人はカレーの味は理解できません。同様に、介護の経験をしたことがない人は、その大変さは決して理解できません。「見てただけ」の傍観者だった私にできたことは、たまたま母親を気遣うことだけ。現在、健やかな毎日を送る母親が当時、致命的な精神的ダメージを負わなかったことがせめてもの救いです。

私は、認知症の予防、介護で精神的に追い詰められる方々、その他せまり来る想定できる未来への準備、これらのために今の自分ができるお手伝いがしたいです。各専門家が警鐘を鳴らしている「ひとたび認知症やアルツハイマーになると、元通りに治る確率は極めて低い」という情け容赦ない現実が来る前に。

医学博士「脳の学校」代表の加藤俊徳先生によると「脳は年齢問わず成長できる」と語っています。特に「第2の脳」と呼ばれる指を動かす体操が効果的とのこと。また、世界保健機関(WHO)が発表している認知症リスク低減の推奨指針の中にも「認知のトレーニング」がうたわれています。

そこで現在、弊社取り扱いのある知育玩具を用途拡大することにしました。推奨年齢8歳、足し算引き算をはじめ、小学2年から必須科目のかけ算九九を自宅で学べる知育玩具です。

物理的には、数字が刻まれた木製のダイヤルを、両手の指を使って前後に回転させてそろえる玩具です。個人的には木の温もりが、積み木等レトロなおもちゃで育った世代、まさに高齢者向きだと考えています。

増加する年齢に反比例していく心身や脳の衰退は、回避するにも限界があります。しかし、その下降線をゆるやかなカーブにすることはできるのではないか?という気持で今、このお知らせを書いています。

大変お忙しいとは存じますが、今回の取り組みをご取材いただき、報道の力で、高齢者やご家族、介護従事者の方々へ知らせていただけたら幸いです。

### 【本件のお問い合わせ先】

会社情報:株式会社 Dream Farm / 代表:小林真樹(まさき) / 〒370-3572 群馬県前橋市上青梨子町 175-1

電話番号:0120-007-848 / 090-1699-5505 (AM7:00-PM23:00)

メール:sales@dreamfarm01.com

ホームページ:<https://www.dream-farm01.com/>

理念:生きとし生けるもの全てが経済の一員

コンセプト:四方よしの上州商人(売り手・買い手・世間・未来)

左記メールアドレス



弊社ホームページ

